

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	地域会館耐震改修事業(南区)			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	南区役所	局	部	自治推進	課 評価責任者(課長名)
					東屋

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 25 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	本市から譲渡した地域会館のうち、旧建築基準法の耐震基準で昭和56年5月31日以前に着工されたものについて、震災時、地域活動の拠点であるだけでなく、災害時には避難所としても活用される地域会館において、耐震機能の確保は必須であり、地域会館耐震診断補助金制度を平成25年度に、また平成26年度に上記耐震診断で安全でない判断された施設を対象とする耐震設計・改修補助金制度を創設する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	本市が譲渡した地域会館のうち、昭和56年5月31日以前に着工されたものについて、耐震診断にかかる経費を補助する。				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	本市から校区自治連合会に譲渡した地域会館の耐震診断・耐震補強を奨励し、地震時における安全性を確保する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	本市から校区自治連合会に譲渡した地域会館のうち、昭和56年5月31日以前に建築された地域会館の耐震診断に対して補助金交付。				
	10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (貸付)				
		校区自治連合協議会					

Ⅲ. 投入量

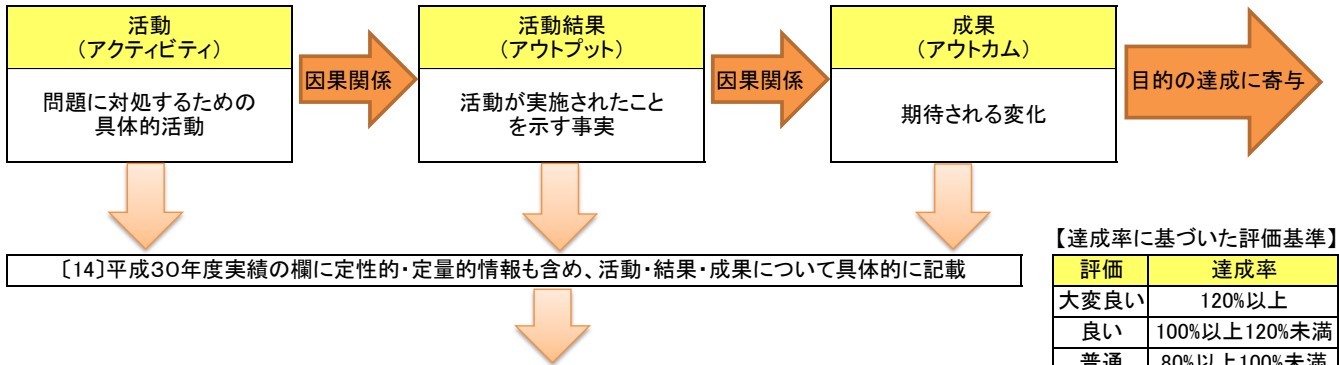
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	1,479	0	0	2,800	
	主な事業費内訳	地域会館耐震診断補助金	千円	1,479	0	0	2,800
		耐震診断委託料	千円	0	0	0	
		印刷製本費	千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	309			362
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(泉北丘陵地区整備基金繰入金)	千円	1,100			2,400
		一般財源	千円	70			38
	12 人件費 (b)	千円	3,280	0	0	3,240	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,759	0	0	6,040	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	地域会館耐震改修事業(南区)	シート番号	215-09
-------	----------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>本事業の対象の地域会館を維持管理している校区自治連合会内において、耐震診断のみならず、診断後の方向性としての「耐震改修」、また、「建替」も視野に入れて地域で検討を重ねており、年度内で結論が出ていない状況である。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		地域会館耐震診断実施件数	件	目標値	2	2	2	2
				実績値	1	0	0	
				達成率	50%	0%	0%	
	評価	悪い		悪い	悪い			
	算出方法・設定根拠など							
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		地域会館耐震診断実施済件数	件	目標値	15	16	17	17
				実績値	15	15	15	
達成率				100%	94%	88%		
評価	良い	普通		普通				
算出方法・設定根拠など								

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>本事業は平成25年度からの新規事業であり、耐震診断後の方向性についての調整が必要となることから、未申請の施設が残っているが、今後は耐震診断を各校区に推奨していく。</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。